

## ●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

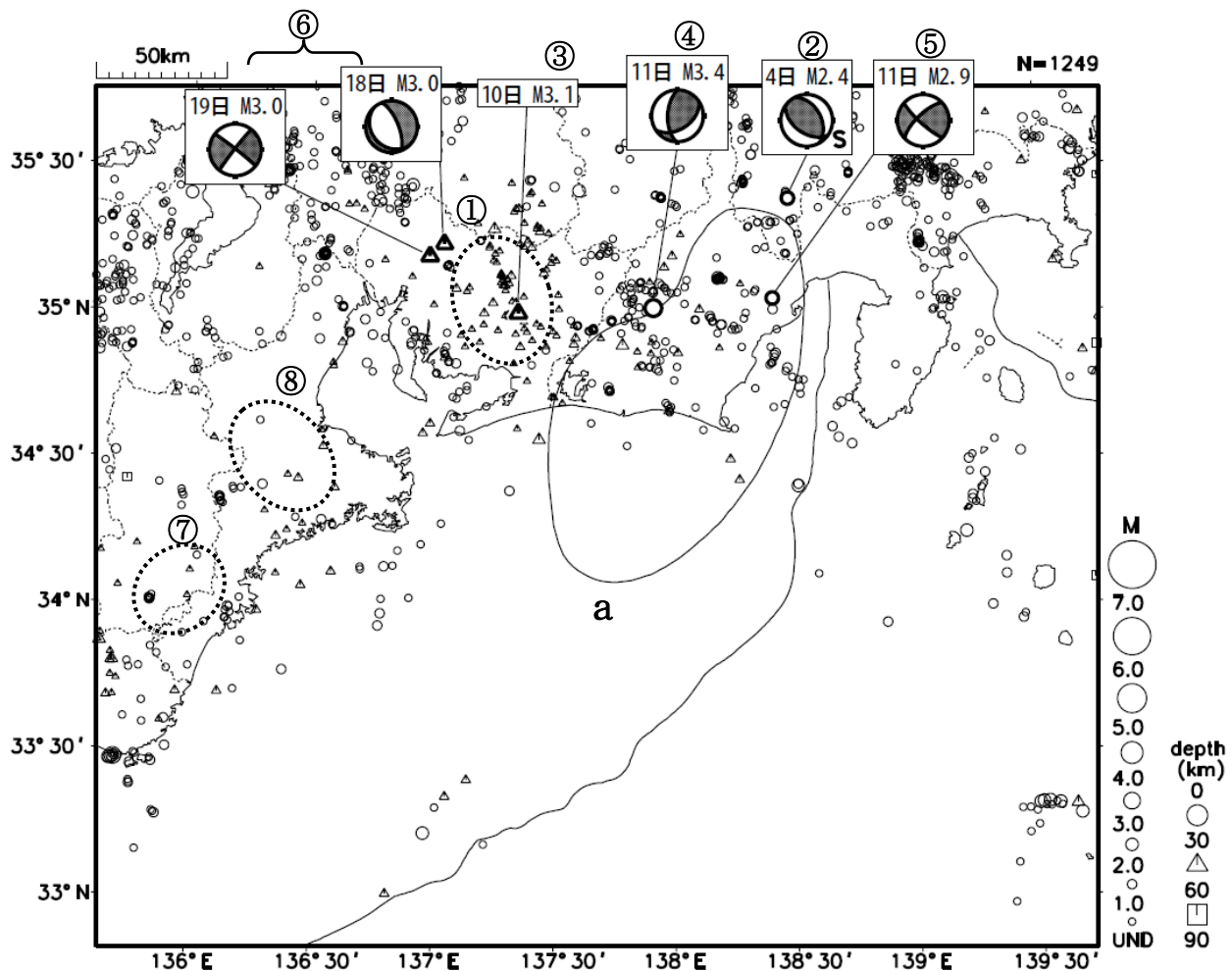


図1 震央分布図（2017年10月1日～31日：深さ0～90km、Mすべて。図中の領域aは東海地震の想定震源域。）

### 【概況】

特に目立った活動はなかった。

- ① 3日に、愛知県を震央とする深部低周波地震を観測した。
- ② 4日21時31分に、山梨県中・西部の深さ12kmでM2.4の地震（最大震度1）が発生した。この地震の発震機構（参考解）は、北東－南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。
- ③ 10日06時59分に、愛知県西部の深さ38kmでM3.1の地震（最大震度1）が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。
- ④ 11日08時49分に、静岡県西部の深さ9kmでM3.4の地震（最大震度2）が発生した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。
- ⑤ 11日18時42分に、静岡県中部の深さ26kmでM2.9の地震（最大震度1）が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。
- ⑥ 18日03時09分に、愛知県西部の深さ41kmでM3.0の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生した。この地震は、発震機構が東北東－西南西方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。また、19日18時32分に愛知県西部の深さ38kmでM3.0の地震（最大震度1）が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。
- ⑦ 20日に、奈良県を震央とする深部低周波地震を観測した。
- ⑧ 30日から31日にかけて、三重県を震央とする深部低周波地震を観測した。

注 冒頭の番号は図1中の数字に対応する  
気象庁作成